

1 教育目標（目ざす児童像含む）

～ かしく・やさしく・たくましく ～

○ よく考え、学ぶ子ども（知）

○ 自分を見つめ、つくせる子ども（徳）

○ 明るく、たくましい子ども（体）

2 学校経営の理念（目ざす学校像含む）

激しい変化が予想される21世紀社会の担い手として、自分の考えを堂々と表現でき、社会に有用な子供の育成を図る。そのために学習面においては、基礎・基本の徹底を図るとともに様々な場面で『練り合う』場面を設定する。生活面では、あいさつと返事の徹底を図るとともに『終始一貫』続けられる実践や『気付直行』の精神を大切にした指導を心掛けながら、他人に対する思いやりの心も育成する。また、様々な場面で学校、保護者、地域住民が関わりをもち、「地域に開かれた信頼される学校」をめざす。

3 学校経営の方針（中期的視点）

- ・全教科領域において『自己表現が堂々とできる子』を目ざした指導を行いながら、調和のとれた教育を行う。
- ・終始一貫続けることの大切さや他人のために実践することのよさを体感できる指導を心掛ける。
- 小中一貫教育を生かした教育計画の工夫・実践と上河内地域学校園構想と連携した事業運用に努める。
- 生活と学習の基礎・基本の定着を図る。
- ・仲間との共同生活を通じて、人間性や社会性など豊かな心と健やかな身体を育成する。
- ・楽しく居がいのある学校づくりを推進し、地域に開かれた学校づくりに努める。

4 今年度の重点目標（短期的視点）

～主体的に学び、自分の考えを進んで表現できる子どもの育成～

（学 校 運 営）○ 笑顔と活気がある楽しい学校で地域に開かれ、信頼される学校をめざす。

○ 人生の先達として人間として正しい道を教え、実践する教職員をめざす。

（児童生徒指導）○ 教職員と子供たちのよりよい人間関係の中で、いじめ・不登校ゼロをめざす。

○ 健康と安全教育に目を向けた指導を心がける。（人命尊重）

○ 地域安全マップの作成とその活用を図る。

（健康・体力）○ 態度基礎訓練として、特に「気をつけ」時の足の開きを徹底する。（「正しい姿勢」）

○ 自分のわがままに打ち勝つ強い心の育成(気づきの生活)を図る。

（学 習 指 導）○ 「楽しく分かる授業」を展開するために、子どもが主役の『練り合い』の授業に心掛けながら学力の定着を図る。

○ 小中一貫乗り入れ授業を通して、学習面での課題の明確化を図る。

5 自己評価（Aは共通評価指標、Bは学校独自評価指標）

（評価指標の【全】は、全体アンケート実施）

（「主な具体的な取組の方向性」には、A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入）

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価
教育全体の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。【全】 【数値指標】 全体アンケート 「私は今の学校が好きです」 ⇒児童の肯定的回答80%以上 「学校全体に活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。」 ⇒保護者肯定的回答80%以上	① 「かしく、やさしく、たくましく」の合言葉の浸透を図り、笑顔と活気のある楽しい学校づくりを進める。		【達成状況】
		② 学校行事では、児童が協力しながら主体的に活動する場を設定し、明るく生き生きと取り組ませる。		
		③ にこにこ班(縦割班)活動を、これまでの学校行事や清掃から、月1回の共遊を中心とする活動にも広げ、共に活動することを通して信頼を深め、明るく楽しい学校を目指す。		【次年度の方針】

A2 教職員は、組織の一員として誠実に熱心に教育に当たっている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「先生は大切なことを熱心に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上 「教職員は協力し、教えるべきことを熱心に指導している」 ⇒保護者肯定的回答８０％以上	① 学びに向かう集団に高めながら、児童一人一人が自らの力で様々な不適応を解消し、意欲的に学習活動に取り組めるように指導・援助する。 ② 職務の遂行に当たっては、キャリアや専門性、特性を生かし、見通しをもって創意ある取組を目指す。 ③ 保護者や地域住民へ、児童の様子の紹介や協力依頼の発信など進んでコミュニケーションをとり学校教育の理解を促す。 ④ 来校者・電話・連絡帳などでの手紙には、速やかに丁寧に対応する。 ⑤ 服務規律を守り、信頼される教職員を目指す。	【達成状況】 【次年度の方針】
A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上 「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒保護者肯定的回答８０％以上	① 児童が正しく判断し責任ある行動がとれるよう、その姿を「よい子の生活」に示し、学習と生活のきまりの徹底に努める。 ② 生活当番は、秩序があり安全な学校生活を実践できるよう週生活目標を設定し、掲示や放送、校内巡視などを行って意識づけをする。 ③ 避難訓練(火災・地震・不審者)、交通安全教室、防犯教室の実施や、「子ども１１０番の家」への理解等を通して、危機管理能力を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A4 教職員は、分かる授業やきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上 「教職員は児童一人一人が理解できるように教材を工夫するなど、きめ細かな指導をしている」 ⇒保護者肯定的回答８０％以上	① 授業のねらいを明確にし、児童の関心や理解を促す教材開発や分かる授業のための指導法の工夫に努めると共に、共有化を図る。 ② 習熟度別学習や少人数指導、ＴＴ指導、かがやきルームやなかよしルームでの個別指導等を通して、児童一人一人の学習状況に応じたきめ細かな指導をする。	【達成状況】 【次年度の方針】
A5 日課、授業、学校行事など教育課程は、適切に実施されている〔全〕	① 日課は、子どもにとってゆとりと秩序のあるものになるよう適切に実施する。	【達成状況】

	【数値指標】 全体アンケート 「私の学校生活や様々な活動は充実している」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上 「学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている」 ⇒保護者肯定的回答８０％以上	② 新学習指導要領及び小中一貫教育の趣旨を踏まえ、学校スタンダードに示す取り組み実践するよう、各教科等年間指導計画・各種教育年間指導計画を見直すとともに、本校独自の教育活動を推進する。 ③ 学校行事は、その都度評価し、改善すべき点について検討して次年度に生かす。	【次年度の方針】
	A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「学校は学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者肯定的回答８０％以上	① 学校だより、学年だより、保健だより、図書館だより、教育相談だより、食育だより等様々なたよりの作成において、関心を高める紙面の工夫に努めながら積極的に発信提供したり、ホームページを適宜更新したりして、保護者や地域住民に学校の取り組みを知らせる。 ② 授業参観、学校自由参観日、学校行事等において積極的に保護者や地域住民に学校を公開し、アンケートを実施して保護者や地域住民の意見を学校経営に反映させる。	【達成状況】 【次年度の方針】
学校運営の状況	A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った取組が推進されている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上 「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」	① 学校支援ボランティアの活用や出前授業、校外学習などにおいて地域の人材や施設・設備等の教育力を生かした学習を充実する。 ② 「魅力ある学校づくり地域協議会」において、児童の健全育成を目指し、学校・家庭・地域の連携を深める事業を推進しながら交流の輪を広げる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、清掃がしっかり行われ学習しやすい」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上 「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」 ⇒保護者肯定的回答８０％以上	① 校舎内外の美化に努め、児童自ら日常的に清掃活動に取り組むよう支援し、快適な学習環境作りを目指す。 ② 日々校舎内外の巡視をするとともに、月１回施設・設備の安全点検を実施し、必要な箇所の修繕を迅速に行い学習環境の整備に努める。 ③ 適切に予算を執行し、指導計画に基づいて教材教具を整備してその適切な活用と管理に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B1 教職員が情報を共有し、課	① 管理職及び職員間の報・連・相	

教育活動の状況	題のよりよい解決に向けて全職員が一丸となって取り組んでいる。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「情報を伝え合い解決に向けてそれぞれの役目を果たしている」 ⇒教職員の肯定的回答 80% 以上	を大切にし、互いに声をかけ合うと共に、「報・連・相ノート」を活用して共通理解に努め協力し合う。	【達成状況】
		② 問題行動発生時には、校長のリーダーシップのもと全職員が連携して組織的に取組み、誠意ある対応を心掛ける。	【次年度の方針】
	A9 児童は、進んであいさつをしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート「児童は、時や場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80% 以上	① 各学年のあいさつ運動や地域協議会のあいさつ運動で意識を高めながら、日々の生活指導の中で明るいあいさつや元気な返事ができる子の育成を目指す。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A10 児童は、正しい言葉づかいをしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」 ⇒児童の肯定的回答 80% 以上	① 相手の気持ちを考えた言葉づかいや場に応じた言葉づかいができる子の育成を目指し、生活と学習の両面から日常の指導を充実させると共に、道徳の時間の重点項目に掲げて指導の徹底を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	生活 「児童は、大人に対して適切な言葉づかいをしている」 ⇒保護者肯定的回答 80% 以上	② 朝の会や会話科、学級活動等で、時や場に応じた適切な言葉づかいができるよう、学年の発達段階に応じた指導をする。	
	B2 みんなと仲良く、助け合って生活している。〔全〕 【数値指標】 いじめの実態調査 ⇒いじめの解消率 100%	① いじめの早期発見・早期対応のため、年度当初にいじめの実態調査の日程を決めて定期的を実施して実態把握に努めるとともに、年に2回定期教育相談を実施して問題の早期発見や信頼関係の醸成に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
		② 道徳の授業の公開や人権週間の様々な活動を良い機会としながら、日々の体験を通して人権意識を高め、思いやりの心やわがまに打ち勝つ強い心を育む。	
	A11 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、休み時間や放課	① ミニマム達成のための運動プログラムを実施して運動の日常化に努めながら、教科体育においては授業の開始に当たってサーキットトレーニングを実施し個に応じた体力づくりに努める。	【達成状況】

健康・体力	後などに進んで運動している」 ⇒児童の肯定的回答 80% 以上	② 態度基礎訓練として、特に「気をつけ」時の足の開きを徹底する。	【次年度の方針】
		③ 学級においては、水曜日のロング昼休みに共遊の時間を確保するように努め、体力向上を目指すとともに学級の人間関係の構築を図る。	
	A12 児童は栄養にバランスを考えて食事している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、好き嫌いなく給食を食べている。」 ⇒児童の肯定的反応 80% 以上	① 学校栄養職員の取組みを生かし、教室やランチルームでの給食指導の充実を図ったり、保護者への啓発に努めたりしながら、望ましい食習慣を育て食事のマナーを身につけさせる。	【達成状況】
		② 食事をとることの大切さについて、学年に応じた授業を通して理解を深め、自ら実践する態度を育てる。	【次年度の方針】
学習	A13 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は授業中に進んで話合うなど、積極的に学習している」 ⇒児童の肯定的反応 80% 以上 「自分の子どもは、好き嫌いなく食事をしている」 ⇒保護者肯定的回答 80% 以上	① 授業では、聞く態度の定着を基盤に、基礎・基本の徹底を図るとともに、様々な学び合いの中で「練り合う」場面を設定し、「話す」の力を高めながら、自分の考えを堂々と表現できる児童を育てる。	【達成状況】
		② 学び合いの場面では、友達の考えを参考にしたり、比較したりしながら、自分の考えをまとめ、表現する力の育成に努める。	【次年度の方針】
	B3 基礎的・基本的な学習内容を身につける。〔全〕 【数値指標】全体アンケート「自分から学習し授業でわかったことやできることがふえた」 ⇒児童の肯定的反応 80% 以上	① 朝の学習や授業において、漢字・計算等の徹底した反復練習によって定着を図り、達成感を味わわせることにより学習の習慣化を目指す。	【達成状況】
		② 家庭と連携を図りながら、(学年×10分)の家庭学習を実践する。	【次年度の方針】
	A14 児童は落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業中に先生や	① 学習の基盤となる学習態度や学習技能を身につけるために、学校全体で「学習のきまり」に取り組む、系統的に発展的指導に努める。	【達成状況】

	友達の話をよく聞くなど、 落ち着いて学習している」 ⇒児童・保護者の肯定的反 応 80%以上	② 「話の聞き方」については、 全教育活動を通して、学年の発達 段階を踏まえつつ、全職員による 共通理解のもとで育成する。	【次年度の方針】
本 校 の 特 色 ・ 課 題 等	B4 自分の住んでいる地域を理 解し、郷土に対する愛情を持 っている。 【数値指標】 全体アンケート『ふるさとカル タ取り大会』や『羽黒山遠足』 は児童の郷土愛を育むのに効果 的である」「食農体験活動は農業 や食への理解や関心を深めるた めに大切な活動である」 ⇒児童・保護者の肯定的反応 80%以上	①「ふるさとカルタ」について調べ る中で、地域のすばらしさに触れ、 地域の方との交流を深める。さら に、家庭でもカルタを利用してもら うことにより家庭と連携しあった 活動を目指す。また、地域のシンボ ルである羽黒山に登り、郷土愛をは ぐくむ。 ②全児童が食農体験事業で田植え や稲刈りを体験したり、5年児童が 総合で稲の観察や世話などを実践 したりすることで農業や食への理 解や関心を深める。	【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

6 学校関係者評価

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）